

感染性胃腸炎にご注意!

感染性胃腸炎は、年間を通じて発生しますが、特に冬場に多く発生します。感染性胃腸炎の主な原因としてはノロウイルスが知られていますが、今シーズンは新規遺伝子型ノロウイルスの流行が懸念されています。

学校、保育所、社会福祉施設などでは集団発生することがあり、注意が必要です。

◆ノロウイルスとは?

ヒトの小腸で増殖し、嘔吐や下痢などを起こすウイルスです。

◆感染性胃腸炎の症状は?

ノロウイルスの潜伏期間は24〜48時間と言われており、下痢、嘔吐、吐き気、腹痛、発熱(38℃以下)が主な症状です。通常これらの症状が1〜2日続いたのち治癒し、後遺症もありません。また、発症しても風邪のような症状のみの場合もあります。

下痢や嘔吐の症状がある場合には、水分を多めに摂るように心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。

◆感染の経路は?

- ① ノロウイルスが大量に含まれる患者のふん便や吐物から、ヒトの手などを介して二次感染する。
 - ② 家庭や共同生活施設など、ヒト同士の接触する機会が多いところで、ヒトからヒトへ感染する。
 - ③ 食品取扱者(食品の製造等に従事する者、飲食店における調理従事者、家庭で調理を行う者などを含む)が感染しており、その者を介して汚染された食品を食べた場合
 - ④ 汚染された二枚貝を、生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合
 - ⑤ ノロウイルスに汚染された井戸水などを消毒不十分で摂取した場合
- ◆**感染を予防するためには**
- ① トイレの後、調理をする際や食事の前には、よく手を洗い、使用するタオルなどは、清潔なものを使用しましょう。



- ② 加熱が必要な食品は中心部までしっかりと加熱しましょう。(湯通し程度の加熱では、中心部のウイルスは死滅しません。)
- ③ 便や吐物の処理をする場合には、使い捨てのマスクやビニール手袋を着用し、ペーパータオルなどで静かに拭き取りましょう。拭き取った後の床などは、適正な濃度の塩素系消毒剤(次亜塩素酸ナトリウムなら塩素濃度約0.1%)で消毒を行いましょ。

◆千葉県内の感染性胃腸炎流行状況

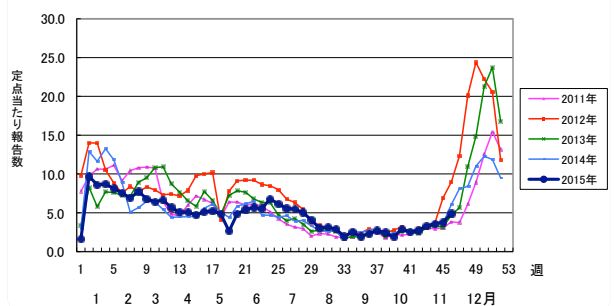
「定点当たり報告数」は、県であらかじめ指定した医療機関(定点)当たり一週間にどれくらい報告があったかを表す数値。最新の流行状況については、千葉県感染症情報センターホームページをご確認ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/iken/c-ids/>

お問い合わせ 千葉県健康福祉部疾病対策課 感染症予防班

TEL 043(223)2691(直通)

千葉県の感染性胃腸炎定点当たり報告数 2011年～2015年46週



麻しん(はしか)・風しんは予防接種で防ぎましょう!

麻しん(はしか)・風しん

麻しん、風しんとも気道分泌物の中に含まれるウイルスを介して感染する感染症で、治療は対症療法になります。

麻しんは感染力が強く、免疫のない人が感染を受けるとほぼ100%発症し、39度以上の高熱と発疹、咳、鼻汁、結膜充血などが主な症状です。



風しんは、全身性で紅色の斑状丘疹状の発疹、発熱、後頭・耳後・頸部リンパ節腫脹の症状を特徴としており、妊娠初期の方が感染すると、出生児が白内障、心疾患、難聴などの障害が起こる先天性風しん症候群を発症することがあります。

千葉県では、平成24年度から25年度にかけ風しんの流行が見られ、25年度26年度に各1名先天性風しん症候群の報告がありました。

◆麻しん(はしか)・風しんの予防接種

麻しん・風しんの予防には、あらかじめワクチン接種により免疫をつけておくことです。

◆対象者・接種回数

	対象者	接種回数
第1期	1歳以上2歳未満	1回
第2期	5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間	1回

※免疫の獲得には2回のワクチン接種が必要です。

※詳細については、お住まいの市町村予防接種担当課にお問い合わせください。

上記の対象者以外の方でも、風しんに罹患したことのない方、予防接種を受けていない方特に、妊婦への感染を防ぐため、妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族の方、妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い方及び産後間もない方は、接種費用は自己負担になりますが、医師に相談の上、予防接種を受けることをお勧めします。

なお、妊娠希望者等の大人を対象として、市町村で接種費用を助成していることもありますので、お住まいの市町村予防接種担当課に助成の実施の有無についてお問い合わせください。

お問い合わせ 千葉県健康福祉部疾病対策課 感染症予防班

TEL043(223)2691(直通)

がんに関する相談窓口等の紹介

がんは、日本人の死因の第1位で、およそ3人に1人はがんで亡くなっています。また、およそ2人に1人ががんにかかると言われており、がんは私たちが思っているよりも身近な病気になってきているのです。

がんと診断された患者さんやご家族の不安や悩みは様々です。



ここでは、がん患者さんやそのご家族の悩みや不安を和らげるための相談窓口と、がんに関する情報を発信するホームページを紹介いたします。

◆がん相談支援センター

がん相談支援センターは、がん医療の中心を担う医療機関として国が指定したがん診療連携拠点病院に設置されています。がん専門相談員として研修を受けた看護師や社会福祉士が、信頼できる情報に基づいて様々な相談に広く対応しています。その病院に通院してなくても、どなたでも無料で相談ができます。

がん相談支援センター設置病院一覧

<http://www.wpp.pref.chiba.lg.jp/bbgnv/consultation/consultation01/>

◆ピア・サポーターズサロンちば

県では、がんピア・サポーターの育成に力を入れて取り組んでいます。「がん患者等の支援を行うがん経験者」の方をがんピア・サポーターとしています。「ピア・サポーターズサロンちば」は、ピア・サポーターががん患者さんやご家族のお話を聴いたり、自身の体験を語りたりする場で、千葉県がんセンターやいくつかのがん診療連携拠点病院で開催されています。参加費は無料で、申込も不要です。

平成27年度サロン開催日程

<http://www.wpp.pref.chiba.lg.jp/bbgnv/fellow/fellow02/fellow03/>

◆ホームページ「千葉県がん情報ちばがんナビ」

「千葉県がん情報ちばがんナビ」は、県内のがん情報をとりまとめたウェブサイトです。医療機関や相談窓口、イベント情報、医療費・生活費に対する支援制度など、様々ながんに関する情報を発信しています。また、がん検診や研修会情報など、がん患者さんだけでなく、一般の方や医療従事者の方のための情報も掲載しています。ぜひご利用ください。

ちばがんナビURL

<http://www.wpp.pref.chiba.lg.jp/bbgnv/>

お問い合わせ

千葉県地域統括相談支援センター(千葉県がんセンター)

TEL043(264)5431(内線2530)

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

TEL043(223)2686